

ガス器具別LPG消費量

ガス器具	LPG消費量				
	m ³ /h ^{*1}	kW ^{*2}	kg/h ^{*3}	kcal/h ^{*4}	MJ/h ^{*5}
給湯器32号	2.47	69.2	4.94	59,500	249.1
給湯器24号	1.87	52.3	3.74	44,900	188.3
給湯器20号	1.56	43.6	3.11	37,400	157.0
給湯器16号	1.25	34.9	2.49	30,000	125.6
湯沸器 5号	0.39	11.0	0.79	9,400	39.6
給湯器追焚機能	0.41	11.6	0.83	9,900	41.8
風呂釜(8号)	0.64	17.9	1.28	15,300	64.4
風呂釜追焚機能	0.35	9.8	0.70	8,400	35.3
ガスエアコン	0.23	6.4	0.46	5,500	23.0
ガスファンヒーター	0.13	3.5	0.25	3,000	12.6
衣類乾燥機	0.17	4.7	0.34	4,000	16.9
浴室暖房機	0.26	7.2	0.51	6,100	25.9
ガストーブ	0.12	3.3	0.24	2,800	11.9
グリル付テーブルコンロ	0.35	9.7	0.69	8,300	34.9
ガス炊飯器	0.08	2.3	0.16	1,900	8.3
一口テーブルコンロ	0.08	2.3	0.16	1,900	8.3

※1 「kg/h÷2」の計算式を用いて計算しています。

※2 一般社団法人日本エルピーガス供給機器工業会発行の「JLIA-B-2 圧力調整器 H23改訂版：燃焼器具別標準ガス消費量の参考値」を参照しております。

※3 「kW÷14」の計算式を用いて計算しています。

※4 「kW×860」の計算式を用いて計算しています。

※5 「kW×3.6」の計算式を用いて計算しています。

ガスメーターの選定方法

例：

「給湯器24号」と「グリル付きテーブルコンロ」を使用する場合のガスメーターの選定は、LPG消費量の表から次のように計算します。

1. LPG消費量の計算

LPG消費量の表から次のように計算します。

$$1.87\text{m}^3/\text{h} + 0.35\text{m}^3/\text{h} = 2.22\text{m}^3/\text{h}$$

2. 選定基準

一般家庭用（マイコンメーター）の場合、ガス器具消費量の1.0倍以上で選定します。

$$2.22\text{m}^3/\text{h} \times 1.0 = 2.22\text{m}^3/\text{h}$$

※高圧ガス保安協会発行の「LPガス設備設置基準及び取扱要領」による

『マイコンメーターは最大消費量の1.0倍以上、一般ガスメーター最大消費量の1.2倍以上』とされています。

3. ガスメーターの選定

この結果を基に、膜式スマートメーター（型式：SK25MT1S□□）を選定する形となります。

ガスメーター設置時の注意

- ガスメーターを採用する際は、使用状態をよく把握し、十分な検討の上支障のないことを確認して設置してください。
- 落下等の強い衝撃を与えないよう取り付けてください。また、衝撃を与えてしまったメーターは使用しないでください。
- ガスの出入りに注意し、水平かつ指針が正面を向くように取り付けてください。
- ガスメーターは、検針がしやすく維持管理の容易な場所に設置してください。また、次の場所には設置しないでください。

- ・60℃以上になるような火気、熱気の影響を受ける場所
- ・水しぶき・蒸気等、常に水気の影響を受ける場所（雨は除く）
- ・動力・車両等により振動を受ける場所
- ・腐食性ガスまたは腐食性溶液の発散する場所
- ・石油類等危険物を貯蔵する場所

- ・受電室、変電室等高压電気設備を有する場所
- ・避難通路で近隣の妨げとなる場所
- ・駐車場、通路等が外力の加わる恐れのある場所
- ・電気設備と離隔距離がとれない場所（電気設備に関する技術基準を定める省令、各地域の消防条例に基づく）



安全に関するご注意

ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



施工に関するご注意

設置などの工事施工にあたっては関連文書等十分ご確認の上適切に行ってください。



廃棄について

この商品を廃棄するときは廃棄物処理法第12条（事業者の処理）に従って適性に処理してください。

ガスメーターに関するご質問

お客さまから多く寄せられるご質問を厳選して掲載しています。
その他のよくあるご質問 (FAQ) は弊社ホームページをご覧ください。

オフィシャルサイト
URL: <https://ak.azbil.com/>
Webでのお問い合わせはこちらから



Q1 パルス発信器付ガスメーターの発信部ケーブルの線数は、2線または3線のどちらですか。

- A1** 弊社のパルス発信器付ガスメーターの発信部ケーブルは、赤・白・黒の3線です。
2線で接続する場合は、赤・黒を接続してください。黒 (コモン) のマイナス接続は必須です (黒が接続されていないとパルス受信器が機能しません)。白線は絶縁処理をしてください。

Q2 LPガスメーターの「流量確認遮断」は、どのような状況で遮断されるのでしょうか。

- A2** 大きな揺れを感知した場合や、ガス漏れ警報器からガス漏れ警報信号を受信した場合でも、ガスが流れていなければ遮断しない設定です。これは、不必要にガスを遮断しないようにするための仕組みとして使用されています。

Q3 銘版に「NL」と記載されているが、N型ガスメーター (型式NL) と業務用遮断弁内蔵メーター (型式KL) のどちらでしょうか。また、それぞれの機能にはどのような違いがあるのでしょうか。

- A3** 業務用遮断弁内蔵メーター (型式KL) は上部にコントローラボックスが搭載されており、銘版には「NL□□S」と最後に「S」が付きます。カウンターの上部に「KL」と記載されたシールが貼られており、そちらでも識別できます。

機能としては、

- ・ KL: 遮断弁を搭載しており、ガス漏れ警報器遮断や感震遮断機能を備えています。
- ・ NL: 遮断弁がなく、工場などで連続稼働する場合に適しております。



Q4 業務用遮断弁内蔵メーター (型式KL) は、警報器を連動しないと使用できないのでしょうか。

- A4** 業務用遮断弁内蔵メーター (型式KL) は、業務用マイコンメーター (型式SB) とは異なり、ガス警報器の接続がなくても開栓して使用することが可能です。

ただし、業務用遮断弁内蔵メーター (型式KL) はマイコンメーターではなく、流量遮断機能を持たない遮断弁内蔵メーターです。感震遮断機能は搭載していますが、液石法施行規則第18条22項の条件を満たすためにはガス警報器との連動が必要となります。

Q5 遮断弁 (型式KCV) や操作器の単体交換は可能でしょうか。

- A5** 各々設置後10年経過している場合、遮断弁と操作器それぞれの交換が必要となります。

Q6 操作器 (型式VAC) と遮断弁の最大接続可能距離は、おおよその程度まででしょうか。

- A6** VCTF0.75mm²×4Cの場合は最大50m、VCTF1.25mm²×4Cを使用する場合は最大80m、VCTF2.0mm²×4Cを使用する場合は最大130mまで延長が可能です。

Q7 ガスを使用中に地震が発生しました。操作器 (型式VAC) が設置されている状況で、そのままガスを使用することは可能でしょうか。

- A7** 現在、ガスを使用できている場合はそのままご利用いただけます。
一方、ガスが使用できない場合は、感震遮断によって遮断弁が閉じられている可能性があります。
この場合、ガス機器のガス栓を閉めた上で、操作器 (型式VAC) の開ボタンを押して復帰操作を行ってください。

Q8 操作器 (型式VAC) に接続されている警報器が作動した場合、適切な対応方法は何でしょうか。

- A8** ガス漏れが発生している可能性があります。まずは窓を開けて換気を行い、ガス栓を閉めてください。
この際、換気扇を回さないでください。もしすでに換気扇が回っている場合はそのままにしてください。

Q9 ガス警報器に水などの液体がかかり、警報音が止まらなくなった場合、適切な対応方法は何でしょうか。

- A9** コンセントから電源を供給している製品は、コンセントを抜いて液体が乾くまで使用を控えてください。
アルコール消毒液や殺虫剤などの水分に反応して警報音が鳴る場合があります。
水分が乾いても警報音が止まらない場合は、センサーが故障している可能性も考えられます。